

第6回三行詩コンクール入賞作品

賞	作 品	学年	学校名	発表名
	<児童・生徒の部>			
会長	6年通った登校班 短い距離の父との会話 私の大切な小学校の思い出	6	潮田小	盛田優花
会長	もりもり、にっこり、朝ごはん。 元気ムクムクわいてきた。 なんでも、出来そう今日のぼく。	4	東中田小	川村勇太
会長	ママが悲しむか考えた 悪いこと できないな	4	幸ヶ谷小	尾崎史弥
会長	誰だこの靴でっかいなあ。 久しぶりに並べたら、父より大きくなってた。 他にもたくさん越えられるかな。	3	茅ヶ崎中	春鳩
会長	おにぎりは 母のぶんしん おおえんだん	5	中和田小	葛西健斗
会長	妹が泣く、僕が怒られる。 妹が笑う、僕がほめられる。 妹はかわいい。でも難しい。	5	山田小	扇田凌太郎
会長	ごめんなさい 言えた後にはお互いの 心の空に七色の橋	3	南が丘中	平川永遠
会長	おとうさんが、 「とうこのおもさが、うれしいな。」って。 よし、もっとたべるぞ。	1	東小	浅沼貴子
会長	弟のね顔を見てると、なん だかほんわかする。思わず 体中さわりたくなっちゃう。 おこしてごめんね。	5	茅ヶ崎台小	榊原圭之介
会長	横たわる 父に自然と むらがる家族	6	東品濃小	斉藤未果

第6回三行詩コンクール入賞作品

賞	作 品	学年	学校名	発表名
奨励	おいしいな 畑の野さいで元気な夏 とれたて新せんピカピカ緑	3	東小	リカちゃん
奨励	めざめると パパはママのしきぶとん ボクは ママのかけぶとん	1	並木第四小	さとうありゅう
奨励	もっといっしょに あそびたかったよ お空にいったおばあちゃん	2	中和田小	竹野利咲
奨励	わが家のペット天国へ。 一緒に好きだったひまわりの、種を埋めました。 今朝一輪目の花が咲いた。	5	潮田小	岡部真輝
奨励	ぼくのいえ くもがないのに かみなりおちる	1	原小	オプニマスまさと
奨励	七月に 小さな命 大すきな弟生まれたよ	3	西寺尾第二小	ユリア
奨励	おとうさんあそぼう いいよ おかあさんあれたべたい いいよ つかれているのにありがとう	2	日野南小	津田 透
奨励	家族はね、たまには、 けんかするのがあたりまえ。 そんなたまにかしあわせなんだ。	3	西寺尾第二小	大塚珠桜
奨励	「いただきます。」 いつもおいしい母のご飯。 唯一不満はちくはぐのはし	6	丸山台小	キノコマン
奨励	帰ってくるのが遅い私のお父さん どんなに疲れていても笑顔を私に見せる。 私の悩みが待っています。	5	東山田小	山岡杏奈
奨励	「生きている」 ただ、それだけで すばらしい	5	茅ヶ崎台小	橋本実奈

第6回三行詩コンクール入賞作品

賞	作 品	学年	学校名	発表名
	<一般の部>			
会長	四肢マヒの兄への声かけ 忘れない 回復信じる弟の 優しい心 守りたい		上瀬谷小	成田由美子
会長	もしもの 声ですべてを悟られる 母は天下の名探偵		左近山中	鳩ポッポ
会長	弟が「お姉ちゃん 手をかして」と 十より大きい たし算に姉も一緒にお手伝い		汲沢小	板橋千浪
会長	気が付けば 私のそばでお手伝い あなたの成長感じては うれしさもあり さみしさもまた		平戸小	紗香ママ
奨励	里帰り 何も無いよと言いながら 母は赤飯炊いていた		左近山中	鳩ポッポ
会長	叱られた末っ子が 歩きながらそっと手をつなぐ ちょっとうれしい叱った父さん		笹山小	市村亜紀子
奨励	子育てはね ママが教えるだけじゃなく ママがあなたから学ぶこと があるんだよ		不動丸小	奈美
奨励	「ごめんね。」と言ってくれてありがとう。 母さんもなかなか言えないその言葉。 さあ、今からスタート!		洋光台第二小	まりこ
奨励	気を使い心すり減らし学校へ行く子よ。 世界は果てしなく広かってこと。 生きてその瞳で確かめてごらん。		岩井原中	高須佳津子
奨励	打楽器担当・いびきパパ 指揮担当・寝言ママ 弦楽器担当・はざしりぼく 我が家のナイトコンサート		間門小	暁